

今月の 1 冊



『老いるショック大賞』

■編者…みうらじゅん ■出版…筑摩書房

■所蔵館…中央館・あさくら館・はき館

こんな経験はありませんか? 「着ていくつもりのコートを左腕にかけ、右手で必死にそのコートをタンスの中で探していた」など。この本には、中高年「あるある」の体験談がたくさん収録されています。

図書館でボードゲーム(あさくら図書館)

職員がお手伝いしますので、1 人から参加 OK です。

■日時…8 月 15 日(土)～21 日(金)10 時～16 時

8 月 15 日(土)11 時からボードゲームの内容に合わせたおはなし会も開催します。対象は 5 歳以上の子どもと保護者です。



子どもの読書推進講座「おうちで楽しむ絵本とふれあい遊び」

おうちでお子さんと楽しめる絵本やふれあい遊びをご紹介します。

■日時…9 月 5 日(土)10 時 30 分～11 時 30 分

■場所…ピーポート甘木 3 階 和室

■講師…今泉裕子さん(認定絵本土・絵本コンシェルジュ)

■対象…3 歳以下の子どもと保護者 ■定員…10 組程度(先着順)

■受付開始…8 月 4 日(火)10 時 申 中央図書館(☎ 22-3059)



▲申込フォーム

はき図書館開館 30 周年記念「夜の星空おはなし会」

子どもと遊ぶ会「青い鳥」さんと共催し、夜におはなし会を開催。

終了後は図書館も開館します。夏の夜の図書館をぜひお楽しみください。

■日時…8 月 29 日(土)おはなし会 19 時～(40 分程度)

※図書館開館は、おはなし会終了後～20 時 30 分

■場所…らくゆう館 1 階和室(おはなし会)・はき図書館

■内容…ブラックシアター・紙芝居ほか



info

毎月 23 日は
朝倉市子ども読書の日



© 竹宮恵子
朝倉市子ども読書推進ネットワーク

■休館日

【中央・はき】3 日・10 日・17 日・24 日・31 日(月)

【あさくら】4 日・18 日・25 日(火)

■電子図書館でさらに便利に

電子図書館では、タブレットやスマホ、パソコンから図書館の電子書籍を読むことができます。

24 時間 365 日、図書館が休みの日でも、どこからでも本を借りることができ、音声読み上げなど便利な機能もあります。利用方法など、詳しくは下記をご確認ください。

電子図書館サービスはこちらから。



電子図書館サービスは、朝倉市公式 LINE の「くらし防災」からもアクセスできます。



最新の情報は図書館 HP でもご確認ください。

図書館では、X(旧 Twitter)でも情報を配信中。ぜひフォローを。



@amagilib

ファンコイン
映画

朝倉市自主文化事業



名画上映会 「ディア・ファミリー」

余命 10 年の娘を救うため、父が人工心臓の開発に挑む感動の実話。

■日時…10 月 18 日(日)《午前の部》開場 10 時 / 上映開始 10 時 30 分
《午後の部》開場 13 時 30 分 / 上映開始 14 時 ※上映時間 116 分

■場所…らくゆう館 文化ホール

■チケット…500 円(全席自由) ■発売日…8 月 19 日(水)

※未就学児入場不可。託児あり[9 月 18 日(金)までに要予約・1 人 500 円]

■販売場所…ピーポート甘木、朝倉地域生涯学習センター、らくゆう館各事務所(8 時 30 分～22 時)

問 市文化・生涯学習課(☎ 22-0001)



ディア・ファミリー



©2024「ディア・ファミリー」製作委員会

■出演…大泉洋、菅野美穂、福本莉子 ほか

■監督…月川翔

文化・学習のススメ

あさくらっこおめでとう



ゆうせい
加藤 悠成ちゃん
令和7年8月5日生(一木)



たいよう
宮原 太陽ちゃん
令和7年8月7日生(牛木)



おと
武井 鳳桃ちゃん
令和7年8月5日生(来春)



ゆうな
長野 佑南ちゃん
令和7年8月27日生(入地)



わこ
竹田 和心ちゃん
令和7年8月1日生(馬田)



ゆま
坂本 結真ちゃん
令和6年8月27日生(中原)



るか
坂本 琉夏ちゃん
令和5年8月23日生(柿原)



しんのすけ
木村 心乃助ちゃん
令和5年8月10日生(堤)

申込期間 9月生まれ(9月号)の申込は8月10日(月)まで

申込方法 メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・連絡先(保護者氏名)を明記。
送信後、市人事秘書課(☎22-1117/平日8時30分～17時15分)へ電話してください。

申込条件 満1～3歳の子どもが対象。定員18人(先着順)。申込多数の場合、満1歳の子どもを優先して掲載します。

子育て講座・イベント情報

ゴミの旅 ～朝倉から考える海洋ゴミの世界～

平塚川添遺跡公園の横に流れている川のゴミ拾いをし、ごみの分別をしながら、ごみは流れてどこにたどりつくのか、環境問題について自分にできることは何かを考えましょう。

■日時…9月12日(土)10時～11時30分
■対象…市内小学生の親子 15組
■場所…平塚川添遺跡公園 研修室
■講師…村江史年さん(北九州市立大学准教授)
■持ってくるもの…筆記用具・水筒
■申込方法…電話・メール

問 申 市文化・生涯学習課(☎22-2348) bunka-syougaku@city.asakura.lg.jp



▲メール申込



つながる子育てアプリあさくらっこ
妊娠・出産、子育てまでサポート
アプリダウンロード▶▶▶



8月の催し

母子健康手帳交付

《市健康課》平日9時～16時 あさくらっこアプリで予約。
《杷木支所》20日(木)9時30分～11時30分 電話で予約。
■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど



◀「親子健康カレンダー」に年間予定も掲載

子育て応援プログラム

※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。参加時には、母子健康手帳が必要です。あさくらっこアプリで予約。

マタニティクラス(母親学級)

妊娠・出産について。
■日時…18日(火)9時30分～12時
※13日(木)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具

プレパパママクラス(両親学級)

沐浴、妊婦体験など。
■日時…23日(日)9時15分～12時
※20日(木)までに要予約

もぐもぐ教室

離乳食を始める生後4～6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。
■日時…27日(木)10時～12時
■持ってくるもの…筆記具、エプロン、マスク、タオル

すくすく(育児)相談

子どもの成長、母乳、歯みがき、つけトイレなど、ご相談ください。
■日時・場所…19日(水)10時～11時30分/ピーポート甘木保健福祉センター※13日(木)までに要予約
■期日・場所…20日(木)/男女共同参画センターあすみん
※電話予約
【共通】■持ってくるもの…バスタオル1枚
※母乳相談は別途フェイスタオル3枚持参。

乳幼児健診(対象者にはアプリで通知します)

【甘木朝倉地域の人】 ■場所…ピーポート甘木保健福祉センター

対象	期日	時間
4カ月児(令和8年3月生)	4日(火)	
10カ月児(令和7年9月生)	5日(水)	あさくらっこアプリで予約
1歳6カ月児(令和7年1月生)	6日(木)	
3歳児(令和5年7月生)	7日(金)	

【杷木地域の人】 ■場所…男女共同参画センターあすみん

対象	期日	時間
4カ月児(令和8年3・4月生)		
10カ月児(令和7年9・10月生)	20日(木)	あさくらっこアプリで予約
1歳6カ月児(令和7年1・2月生)		
3歳児(令和5年7・8月生)		

問 申 市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。

【中央図書館】

おはなし会(幼児～小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時～
ぴよぴよおはなし会(0～2歳児向け)
■日時…12日・19日(水)11時30分～

【あさくら図書館】

あかちゃんおはなし会(0～1歳児向け)
■日時…1日(土)11時～
みんなのおはなし会(幼児～小学生向け)
■日時…8日・15日・22日・29日(土)11時～
※15日はボードゲームおはなし会
おひさまおはなし会(幼児～小学生向け)
■日時…23日(日)11時～

【はき図書館】

ひまわりおはなし会(幼児～小学生向け)
■日時…8日(土)11時30分～
わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…25日(火)11時～
夜の星空おはなし会(幼児～大人向け)
■日時…29日(土)19時～

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしています。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

●子育てほっとサロン「つどいの広場」
(堤1413)(☎080-6439-1851)
●生い立つ地域子育て支援センター
(菩提寺606-1)(☎24-5203)
●ひろにわ地域子育て支援センター
(入地2607-1)(☎080-8352-4178)



▲つどいの広場



▲ひろにわ

Pick Up

親子でふれあい遊び in 上秋月

お子さんと一緒に歌や音楽に合わせて身体を動かしたり、親子でたくさん触れ合って遊びます。
※水筒など水分補給をできるものをお持ちください。
※動きやすい服装でお越しください。

■日時…27日(木)10時30分～11時30分
■場所…上秋月コミュニティセンター
(上秋月1373番地1)
■講師…上田恭子さん(こころ亭)

問 ひろにわ地域子育て支援センター(☎080-8352-4178)



シリーズ
人権

共に支え合う社会をめざして

高齢者とは、65歳以上の人のことをいいます。朝倉市では、人口の約36%が高齢者にあたります。筆者もそのうちの一人ですが、年を重ねていく中で、上手に社会とつながっていくことができるか、生きがいを持って生活ができるかということに不安を感じています。

現在、高齢者を取り巻く問題として介護施設や家庭内における身体的・心理的虐待、家族等による財産の不当な処分といった経済的虐待などによる高齢者の孤立、また、老老介護や認知介護などによる身体的負担の軽減といった課題もみられます。さらに高齢者を狙った詐欺・強盗事件が連日のように報道されるなど、高齢者を取り巻く環境は厳しさを増しています。

これらの要因として、高齢者の一人世帯や高齢者夫婦のみの世帯が増えていることも考えられますが、その他に社会全体の高齢者に対する関心や、人と人とのつながりが希薄になったことが原因としてあるのではないのでしょうか。

問 市人権・同和対策課（☎521-174）



会とはいえませんが、このような問題を防ぐためには、さまざまな年齢層の人が幅広く、共に支え合う社会づくりが必要です。そのためには、家族だけでなく、地域や行政、福祉機関が連携し、高齢者を見守る体制を整えることが重要です。

一方、高齢者も地域社会を支える大切な担い手です。地域活動やボランティア活動への参加、子どもの見守りなど、それぞれの経験や知識を生かしながら社会とのつながりを持つことは、高齢者自身の生きがいや健康づくりにもつながります。

「支える側」「支えられる側」という関係だけではなく、お互いを尊重し、誰もが安心して年を重ね、生き生きと暮らせる社会を共につくっていきましょう。

今月の1枚 #あさくらいふ

三連水車で、ハイチーズ！！撮影日:令和8年6月28日 場所:三連水車 撮影者:井上洸輔さん
福岡市内の友人に朝倉市を案内した際に、朝倉市の良さをたいへん喜んでくれた思い出の写真です。



あなたの写真を
掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力」を再発見できる写真を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

掲載の候補となるのは次の写真です。

①Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真

②メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)で申込があった写真など

※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申してください。

※掲載する場合、ご連絡します。



広報文芸



俳句 (矢野俊一選)

世界中子らの笑顔を祈る夏 螢舞う小川のせせらぎわらべ歌
中原 矢野 エイ子 宮野 井上 隆信

佇めば匂い立ちたる櫛青葉 掛け声で一気に走る御輿かな
甘木 岩田 泰徳 三奈木 甲斐 征男

泥んこの野外学習初田植え 夏燕サーカスのごと宙返り
牛鶴 長野 京子 宮野 赤尾 清

川柳 (お題「土」) (益永克之選)

山あいの里で生まれて土と生き 令和にも土塀が残る旧城下
菩提寺 北原 妙子 美奈宜の杜 宇都 信泰

幼い日土と遊んだ泥団子 土地柄で逢えば会話は甘木弁
三奈木 古賀 寛子 檜原 武井 民子

減反か田植えなきあと気にかかる 土地活用小さな花壇癒される
一木 田中 妙子 入地 丸林 美智子

【広報文芸募集方法】はがきまたは封書に三句以内(一人一通限り)と住所・氏名・電話番号(連絡の取れる番号)を記載し、8月10日(月)までに直接選者に応募。

応募作品は、未発表・自身の作品に限る。応募の際は、今一度、確認ください。

応募は、俳句・川柳のいずれかひとつでお願いします。

■川柳次の題:「目」

【応募先】《俳句》矢野俊一さん(〒838-0068 朝倉市甘木1-929-12) 朝倉市菩提寺523-2

女王卑弥呼の徒然日記

SNSで朝倉の魅力発信

こんにちはー第44代女王卑弥呼の川崎恵です。4月30日に朝倉市の観光大使に就任し、中島市長よりいただいた『朝倉を一緒に盛り上げよう』という力強いお言葉で俄然やる気になりました。その3日後に行われた博多どんたくでは、土砂降りの雨の中ですぐ濡れのパレードになりましたが、朝倉市の皆さんとPRを楽しみ、思い出深い初仕事となりました。

今年の女王卑弥呼の活動の中では、特にSNSに力を注いでいます。原鶴温泉の川開きではたくさんの方の協力のもと、流行の動画を撮影させていただき、結果として再生回数が9万回を超え、全国の皆さんに

朝倉市と女王卑弥呼を知っていただくことができました。44歳という過去最年長の私を女王卑弥呼に採用してくださるなど、新しい挑戦を応援してくれる朝倉の空気感がとても温かいです。

どこに行っても「卑弥呼ー」と明るく声を掛けていただき、観光大使・女王卑弥呼が歴史ある愛される存在であることを日々実感しています。私自身も、朝倉の溢れる魅力をもっと学び、さらに多くの人にお届けできるよう頑張っていきます。

ぜひ、いろいろなイベントに呼んでくださいませ。皆さまにお会いできるのを楽しみにしております！

第44代女王卑弥呼 川崎 恵さん



卑弥呼の活動を紹介するコーナー「女王卑弥呼の徒然日記」。今後も不定期で掲載します。卑弥呼の活動は(一社)朝倉市観光協会のInstagramをチェック!



▲(上)九州国立博物館で、朝倉の特産品をPR。(下)「博多どんたく港まつり」で飾り山笠を背景に1枚。

朝倉の「美味しい」が市役所に！ 「あさくら地産地消推進店」が集結！



6月19日、「ひるどき農マルシェ @市役所」が本庁多目的ホールで開催されました。このマルシェは、朝倉地域産の農産物や、それらを使用した加工品などを販売する「あさくら地産地消推進店」が出店するもので、初の試みとなったこの日は7店舗が参加しました。

会場は多くの来場者でにぎわいました。お昼時には行列が見られ、一部商品が完売した店舗も。この取り組みは、毎月19日の「食育(19)の日」に今後も定期的に開催し、食への関心を高めるとともに地産地消を推進していきます。なお、19日が閉庁日の場合は、翌開庁日に開催します。

伝統的建造物群保存地区の河川に注目！ 野鳥川の魅力向上へ

6月30日、九州大学とJR九州が「秋月・野鳥川流域における共創による社会課題解決に向けた連携協定」を締結しました。これは、気候変動や生物多様性の損失など、地球規模の社会課題が地域においても重要な課題となっていることから、こうした課題解決のモデルケースを、朝倉市の野鳥川流域を舞台に発信していくことを目的としたものです。

九州大学の林博徳准教授は、これまで、野鳥川を拠点に地域の生態系保全活動を行っています。河川の復旧や耕作放棄地を活用した湿地の再生、生態系調査を通して自然の良さを学ぶ「たんけん!のとり川!!」など、地域と協働して多くの取り組みを実施。こうした活動が高く評価され、世界的な自然・環境保護支援団体である「ナショナルジオグラフィック協会」の研究助成に、日本で唯一採択されています。朝倉市は、伝建地区を流れる野鳥川を、治水、環境、地域振興の観点から、秋月の魅力向上に努めています。

先人たちの想いを乗せて 朝倉の夏の風物詩 三連水車



6月17日、山田堰通水式が行われ、現存する日本最古の実働揚水車で国指定史跡である三連水車群が回り始めました。

三連水車には、地元の幼稚園児や小学生、観光客などたくさんの人が訪れていました。上流の水神社で神事が行われ、山田堰の水門が開かれると、筑後川の水が堀川用水路へ。徐々に水位が上昇し、約20分後に水車はゆっくりと動き出しました。園児たちは、手作りの旗やうちわなどをあおぎながら「がんばれ!がんばれ!」と水車を応援。水車は10月ごろまで稼働し、朝倉の農地を潤します。



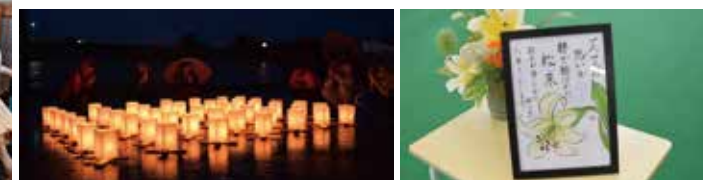
▲(上)連携協定式の様子(左から2番目が林准教授)。(下)「たんけん!のとり川!!」の1枚。

平成29年7月九州北部豪雨から9年 あの日を忘れない

記録的豪雨が朝倉を襲った平成29年7月5日から9年が過ぎました。午前10時、市内では追悼のサイレンが鳴り響き、市民が黙とうをささげました。

松末コミュニティセンターでは追悼式が行われ、松末地区住民などが参列。一人ひとり白菊を献花し、静かに手を合わせました。訪れた参列者は「雨が降るとあの日のことを思い出す。災害に強いまちになってほしい」と話し、9年前のことを思い返していました。

また、東林田区では「追悼の集い」、原鶴大橋下では、(一社)Campによる追悼行事が行われました。災害の記憶を風化させることなく、次世代に伝え続けていきます。



約300年の伝統を誇る甘木祇園山笠 山笠が甘木のまちに活気を

甘木祇園山笠神事は、7月1日の「お汐井とり」に始まり、13日に「子ども樽神輿」が町中を練り歩き、15日には「昇き山笠」が町中を威勢良く引きまわりました。「昇き山笠」では、須賀神社を起点に西流れ・東流れの2つに分かれてスタート。駆けまわる山笠の勇壮さ、響きわたる参加者たちの力強い掛け声が、甘木のまちに活気を与えていました。



皆さんの声をお聞かせください 中島市長と一緒に語ろう、まちのこと

7月から「こねね市長室」が始まりました。市長が各コミュニティを訪問し、市民の皆さんと直接対話を行いながら、防災・子育てなどの課題や市政への要望など幅広くご意見をいただきました。いただいたご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。「こねね市長室」は8月中旬に全コミュニティを訪問後、今後も継続していきます。



あさくらびと

朝倉の伝統文化を
次世代へ

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第57弾は、須賀神社の宮司を務める三浦裕正さん取材しました。

Interview

須賀神社 宮司 三浦 裕正さん

三浦家の神職初代(明治元年)から数えて6代目。朝倉市甘木に生まれ育ち、須賀神社の神事などを執り行う。夏の風物詩である甘木祇園山笠は、6月15日の例大祭(本格的には7月1日の御汐井取神事)から7月15日の昇き山笠の間に開催。期間中は、須賀神社の神紋に似ていることからキュウリを食さない風習がある。

須賀神社の歴史

須賀神社は、もとは「大雄山祇園禪寺」と呼ばれ、臨済宗東福寺派の承天寺(博多辻堂)の末派寺院でした。

その境内にあった牛頭天王を祀る社が、甘木地域の信仰に支えられて、古来より盛大な祭礼を行ってきました。これが須賀神社の前身です。現在の本殿は、1820(文政3)年に建築されており、福岡県指定有形文化財に指定されています。

約300年の伝統がある山笠

須賀神社で行われる行事の中でも、毎年7月の「甘木祇園山笠」(以下、山笠)は、約300年の伝統を受け継ぐ歴史ある行事です。疫病が流行した際、神輿を造り御神体を遷して町中を巡行したことが、山笠の始まりと伝えられています。山笠は東流れと西流れに分かれ、甘木のまちを回ります。かつては東西で速さを競っていたともいわれています。現在の神輿にはゴム製のタイヤが取り付けられていますが、昔は木製の車輪を使用。路面との摩擦で煙が上がるほどの勢いで神輿が曳かれていたという話も伝わっています。山笠の巡行中、私は神事やお祓いの奉仕があるため、行列に加わることはできません。しかし、神社から山笠の様子を見守りながら、山笠に参加する地域の皆さんの熱意を感じています。

コロナ禍では緊急事態宣言の影響により、2年間にわたって山笠は神事のみで開催に。やむを得ない状況とはいえ、たいへん残念な思いでした。その後、行動制限が緩和され、徐々に山笠に人々が戻り始めたときの喜びは今でも忘れられません。

伝統を次世代へつなぐ

少子高齢化の影響もあり、山笠に参加する子どもたちの数は年々減少。参加する地区の中には、子ども不参加者がいないところもあります。こうした状況下で伝統ある行事を守り続けていくためには、地域全体で支え合い、次の世代へ受け継いでいくことが大切だと考えています。また、山笠を将来にわたって継続していくためには、多くの皆さまのご理解とご協力が欠かせません。さらに、山笠をはじめとする旧甘木町の伝統行事と、他の地域に伝わるさまざまな伝統行事との連携が進めば、朝倉市全体のさらなる地域活性化にもつながるのではないかと考えています。何より、朝倉市に古くから受け継がれてきた伝統行事が、今もなお多くの人々によって大切に守られていることを、市民の皆さんに誇りに思っていたければ幸いです。

須賀神社

(甘木 842 ☎ 22-2249)



境内には、推定樹齢1000年以上になるご神木の大神がいます。大神には春から秋にかけてフクロウが巣を作り、鳴き声を聞くことができます。また、須賀神社の大神は、安長寺(甘木)の大神と夫婦神であるといわれています。

藤見の会(懇親会行事)や例大祭・鎮火祭などの祭事や、茅で作った直径2メートルほどの輪をくぐり、無病息災を祈る「夏越祭」など、無病息災・家内安全などを願う祭典が年間を通して行われています。



▲(上)実際に使用されていた木製車輪(下)昭和52年ごろの山笠(甘木歴史資料館所蔵)